

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2020年1月16日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最少催行人員に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料> ※オプション・ツアーも同様です

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

①企画手配料・及び手配料金

②交通費: 旅程に明示した航空機(エコノミークラス)

③宿泊費: 長崎市内3泊

④食事代(朝3回 昼3回 タ2回)

⑤視察費用: 手配料

⑥手荷物運搬料: 一人1個、15Kgまでの手荷物運搬料金

⑦見学費用: 旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料(自由時間は除く)

⑧旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円)

⑨添乗員同行の費用: 1名

⑩講師謝礼

■旅行代金に含まれないもの

①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に購入(お土産、飲食等)したもの。

②ご自宅〜集合場所/解散場所〜ご自宅までの交通費

③障害・疾病に関する医療費・入院費。

④一人部屋追加料金: (9,720円/3泊分)

■お部屋割り

2名様/1室 ホテルの状況により、お一人部屋利用はご希望に添えないことがあります。また、お一人参加で相部屋をご希望の場合、お部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することもございます。あらかじめご了承ください。

宿泊予定ホテル

■長崎市内: ホテルニュータング または同等レベル

利用予定航空会社

●ANA (全日本空輸) ●JAL (日本航空)

利用バス会社

西肥バス、長崎バス観光 など



お申込方法

①申込書にもれなくご記入の上、富士国際旅行社あてに郵送またはfaxにてお送りください。

②申込金20,000円(旅行費用内金)又は旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へ振込みにてお支払いください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込み)

郵便振替口座番号 00140-4-39332

加入者名 株式会社 富士国際旅行社

③当社より旅行費用残金請求書または、受領書を送付します。

④ご出発の10日前には、出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒160-0022東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階

総合旅行業務取扱管理者: 小野寺研一

営業時間: 月〜金曜日 / AM9:30〜PM6:00 (土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。)

ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

株式会社 富士国際旅行社

TEL: 03-3357-3377 FAX: 03-3357-3317

saisu@fits-tyo.com 担当: 西須(さいす)・黒田・金光

株式会社 富士国際旅行社 宛 ●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書

長崎のキリシタン史を学ぶ旅

出発日を選択⇒

□4月21日発

□5月26日発

ふりがな		性別	年齢	ふりがな		性別	年齢
氏名		男女	歳	同行ご家族		男女	歳
住所	(〒ー)			電話	(ー)ーFAX【可・不可】		
				携帯番号	(ー)ー		
緊急連絡先	連絡先名	(続柄:ー)		部屋タイプ(旅行中)	1人部屋を希望【する・しない】追加¥9,720/3泊同室希望の方:ー様		
	住所			4日目の自由行動時の希望見学地等お書きください↓			
	tel(ー)ー						

抵抗と弾圧、原爆投下という負の歴史が交差する

長崎のキリシタン史を学ぶ旅

旅行期間

2020年①4月21日(火)〜24日(金)

②5月26日(火)〜29日(金)

日本26聖人殉教の地

旅行代金

105,000円(羽田空港発着の場合)

添乗員

羽田空港より同行

実施人数

30名(最低実施人数10名様)

申込締切

①3月31日(火)

②5月5日(火)

※締切日以降も空席がある限り、ご参加可能です。



旅のおさそい

◇地元の方のご案内で、禁教令の厳しい弾圧の元、信仰を守り伝えた人々の抵抗史を学びます。

◇潜伏キリシタンの信仰が続く地・外海を訪問。貧困から村を救うため神父が開墾した畑でとれた食材を味わいます。

◇去年11月に来県したローマ教皇が「核廃絶と平和」へ強いメッセージを発した地をめぐる。

株式会社 富士国際旅行社

〒160-0022東京都新宿区新宿2-11-7宮庭ビル4階

TEL: 03-3357-3377 FAX: 03-3357-3317

日次	都 市	交通機関	日 程 / 食 事
① 4/21 (火) ・ 5/26 (火)	東京・羽田空港発 長崎空港着	航 空 機 専 用 車	羽田空港集合(午前9時頃を予定) 空路、長崎へ 着後、昼食 ＜長崎市内見学＞ ＊日本二十六聖人殉教地 ＊大浦天主堂・キリシタン資料館 夕食：参加者交流会
② 4/22 (水) ・ 5/27 (水)	ホテル発	専 用 車	＜潜伏キリシタンの信仰が続く地・外海を訪問＞ ＊祈りの岩 ＊ド・ロ神父が建てた出津教会 ＊歴史民俗資料館 ＊救助院 お昼：外海の畑でとれた季節の料理 ＊遠藤周作文学館
③ 4/23 (木) ・ 5/28 (木)	ホテル発	専 用 車	＜長崎の『負の遺産』をめぐる＞ ＊ローマ教皇が訪れた爆心地公園 ＊如己堂、永井隆記念館 ＊浦上天主堂・浦上キリシタン資料館 ＊長崎原爆資料館 ＊長崎の原爆被害について証言をお聞きします。 ＊聖コルベ記念館 ＊アウシュビッツ強制収容所で殉教した神父の記念館
④ 4/24 (金) ・ 5/29 (金)	ホテル発 長崎空港着発 東京・羽田空港着	専 用 車 航 空 機	＜集合まで自由行動＞ ※下記、見学地一例です。 ・軍艦島 ・新地中華街 ・出島 ・岡まさはる記念長崎平和資料館 など 夕方ホテル集合、長崎空港へ 空路、帰郷の途へ



遠藤周作「沈黙」のモデルになった地でもあります



長崎 味の魅力

長崎と言えば、卓袱料理(しっぽくりょうり)が有名です。中国料理や西欧料理が日本化した宴会料理の一種で、長崎市を発祥の地とし、大皿に盛られたコース料理を、円卓を囲んで味わう形式をもつ。和・中・洋の要素が混じり、テーブル卓に料理を乗せて味わうのが特色です。他に長崎では是非食べていただきたい料理は、長崎ちゃんぽん、カステラ、皿うどん、からすみ、角煮まん、大村寿司など。また最近では、トルコライス、ミルクセーキ、茂木びわ、佐世保バーガーも人気メニューです。



長崎キリシタン史

1549年イエズス会のフランシスコ・ザビエル一行が薩摩に上陸。1550年に平戸を訪れ、本格的に日本での布教を開始。ザビエルが日本を去った後も残ったイエズス会宣教師たちの活動によりキリスト教は全国に広がっていきました。日本初のキリシタン大名となった大村領の領主大村純忠によって、1571年長崎は国際貿易港として開港され、キリシタンの街として発展していきました。1587年、豊臣秀吉は教会領だった長崎を没収し、宣教師を追放する「伴天連追放令」を發布。しかしポルトガル貿易は継続したため、キリスト教も事実上黙認されました。

本格的なキリシタンの取り締まりが行われるのは、徳川幕府の時代になってからです。日本で殉教した信徒の数は25万人以上とも言われています。1644年に最後の神父が殉教した後、信徒たちはかくれて信仰を守り続けました。この禁教時代に隠れてキリスト教の進行を保持・継承してきた人々を「潜伏キリシタン」、明治以降、禁教令が撤廃された後もカトリックに復帰せず、潜伏時代の信仰形態を継続している人々を「かくれキリシタン」と呼んでいます。明治政府になっても禁教はつづき、多くの信徒たちが犠牲になりました。禁教令が発令されてから259年後の1873年、明治政府はついにキリシタン禁制の高札を撤去。黙認の形ながら信徒たちはようやく信仰の自由を手にしたのです。(参考・一部抜粋：漫画で読む長崎キリシタン史「愛のまち」)

● 日本二十六聖人・大浦天主堂

豊臣秀吉のキリシタン禁教令によって捕縛され、1597年2月5日長崎西坂の丘で処刑された26人の聖殉教者達のことです。豊臣秀吉によってキリシタン弾圧の命令が下され、その命令に従った石田三成により、1596年のクリスマス頃に、大阪・京都周辺でキリシタンが24人捕縛されました。京都や大阪・堺の町を引き回された後、一ヶ月ほどかけて、裸足で歩いて長崎に送られました。この途中で2人が加わり26人となりました。1597年2月5日に長崎の西坂の地にてはりつけの刑に処せられました。長崎は、禁教令にもかかわらず、キリシタンの街として栄えていたため、西坂でのこの処刑はみせしめのためでした。

大浦天主堂は現存する国内最古の教会です。正式には、「日本二十六聖殉教者聖堂」と言い、1862年に二十六人の殉教者たちが聖人に列せられたのを受け、捧げられた教会です。「キリシタン博物館」は教会敷地内にある旧羅典神学校と旧長崎大司教館を活用したもので、2018年4月に開館しました。大浦天主堂は禁教令下にあった1864年に完成、翌年フランス人のプティジャン神父のもとに、潜伏キリシタンであった農民の団が信仰を告白した「信徒発見」のニュースは世界に驚きと感動を与えました。(一部抜粋：大浦天主堂HP)



書籍ご紹介

漫画で読む長崎キリシタン史
「愛のまち」夢旅日記 ▶
＊西岡由香著
＊長崎文献社
＊定価1,800円(税別)



◀「パパ様と長崎」
＊西岡由香著
＊長崎文献社
＊定価1,000円(税別)
※キリシタン史がとても良くわかるおススメの一冊です！今回のツアーでは著者の西岡由香さんに一部同行・案内していただきます！

● 遠藤周作「沈黙」

遠藤周作氏は、日本人にとってキリスト教の意味を問い続けた作家です。



江戸時代の禁教令下、二人のポルトガル人宣教師が日本に潜入し、そこで信徒たちの惨状を目の当たりにします。禁教令下、日本に潜入した宣教師ロドリゴが目にしたのは、弾圧され、殉教していく信徒たちの姿でした。信徒たちに加えられる拷問を前に苦悶し、背教の淵に立たされるロドリゴ。そのとき彼の心に響いた声は―「神の沈黙」という永遠の主題に深く入りこんだ遠藤文学の傑作。長崎を訪れる前に是非ご覧いただきたい小説・映画です。

● 外海地区

かつて「陸の孤島」とよばれ、また比較的寛容だった佐賀鍋島藩の領地が混在していたこともあって多くの潜伏キリシタンが信仰を守り続けていました。潜伏キリシタンたちが密かに祈りをささげ信仰を伝えてきた「祈りの岩」など外海地区のいたるところで人々の信仰を感じることができます。1868年に来日し、1879年に外海に赴任してきたフランス人宣教師のド・ロ神父はキリスト教の隣人愛を実践し、建築技術・教育文化の知識をいかして様々な事業を立ち上げました。

外海の人々の生活を支えるためにド・ロ神父は素麺やマカロニなど麦の加工技術を伝えるとともに畑を開墾し農作物の栽培方法も伝えました。

今回のツアーでは、この畑でとれた季節の野菜や小麦をつかったお料理、手作りパンなどをいただきます！

